

From Ibigawa S A B O

12月10日(月)、事務所周辺は早くも一面の銀世界に覆われました。30cm以上の積雪があったため、職員はまず雪掻きから。冬なのに大汗をかきながらの作業になりました。翌11日(火)にも新たに20cmの積雪にみまわれ、筋肉痛の体にムチ打って二日間連続職員総出の雪掻きとなりました。



小学生に「砂防」を知ってもらう ～久瀬小学校 5・6年生～

揖斐川町外津汲(とつくみ)地先で工事を進める外津汲内谷(うちたに)第1砂防堰堤を施工する(株)所組と当事務所は、11月28日(水)に地元の揖斐川町立久瀬(くぜ)小学校の5・6年生を対象に工事現場見学会を開催しました。

子供達は普段見ることができない工事現場や働く重機などに興味津々。土砂災害や砂防堰堤の役割などに関心を持ってもらうことができました。

日本初！サイフォン式小水力発電 見学会を開催

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかも)地先の山の谷第1砂防堰堤で開発が進められているサイフォン排水装置を利用した小水力発電が発電開始したことをクマタカ通信 vol.39でお知らせしましたが、開発を進める研究会と当事務所は、12月6日(木)に現場見学会を開催しました。あいにく雪混じりの天気でしたが、近隣市町や県土木の職員、施工業者の技術者等60名を超える方が参加していただきました。



教室で「砂防」について学び

砂防堰堤の工事現場を見学

[詳細はココをクリック](#) (事務所HPへ)



開発意義を説明する
佐藤事務所長



装置について説明する
(株)山辰組 馬瀬社長

[見学会の詳細はココをクリック](#) (事務所HPへ)
[クマタカ通信 vol.39 はココをクリック](#) (事務所HPへ)

僕達の住んでいる町は大丈夫？ ～揖斐川中学校 1年生～

11月21日(水)と28日(水)に揖斐川町立揖斐川中学校1年生の生徒さん62名が「総合的な学習の時間」を活用し、土砂災害の恐ろしさや砂防堰堤の役割について学習するため当事務所へ来所されました。

揖斐川上流域の土砂災害の発生状況や被害を軽減するための砂防施設などについて柘植工務課長が説明し、土石流や東横山地すべりの映像に興味深そうに見ていました。

生徒の皆さんからは、「自然災害で亡くなる人に占める土砂災害で亡くなる人の割合が高いことに驚きました。」などの感想をいただきました。

伊那谷の技術者が視察に訪れる

11月29日(木)に『飯島いいものつくろう会』の技術者15名が当出張所管内の視察に訪れ、揖斐川筋で工事が進められている砂防施設の建設現場や、今年9月に来襲した台風16号の豪雨の爪痕を見学されました。

見学された技術者の方は、MGバックホウによる掘削に興味をもたれ、予定時間をオーバーするほど活発に質問をされていました。



大蔵谷第1砂防堰堤道路工事



1年3組の皆さん



1年4組の皆さん

[詳細はココをクリック](#) (事務所HPへ)

地域防災力強化へ = 揖斐川町 =

11月17日(土)に揖斐川町社会福祉協議会が主催する『災害ボランティア研修会』に講師として白木調査・品質確保課長が出席し、揖斐川町内における砂防・河川・ダム事業などの防災に対する国土交通省の取り組みと防災情報について報告しました。



センセイも慌ただしく走る12月。各現場も週初めの積雪により除雪作業からの段取りとなりました。本格的な積雪期を迎え、現場代理人や監理技術者は、工程に影響を及ぼさないように大忙しで現場内を駆け回っています。

瀬戸谷第1砂防堰堤が竣工へ

揖斐川町日坂(ひさか)地先で平成22年11月より工事を進めてきた瀬戸谷(せとだに)第1砂防堰堤がもうすぐ竣工します。この堰堤は、堰堤高 H=13.0mの鋼製透過型堰堤で、通常時に流れてくる土砂は下流へ流し、土石流発生時には土砂や流木を捕捉し、下流の日坂地区を土砂災害から守ります。



完成した砂防堰堤



舗装終了で工事完成へ

== 現場技術者の声 ==



現場代理人
(株)山辰組
牧村 成さん

工事期間中に台風16号による大雨の影響で瀬戸谷、殿又谷が増水し作業現場内に土砂が流れ込むという災害に遭い、改めて『土石流などの危険をくい止める砂防堰堤』の必要性を実感しました。この瀬戸谷第1砂防堰堤が完了する事で、下流の日坂地区の皆さんの『心配・不安』が、『安全・安心』に変われば良いと思います。

忍者のように軽やかに =大蔵谷=

揖斐川町樫原(かしはら)地先で工事を進める大蔵谷(おぞうだに)第1砂防堰堤道路工事(施工:株久保田工務店)では、付け替え林道の掘削がようやく完了し、切り土面の対策を行っています。足場の無い急斜面での作業となり、作業員の方は一本の親綱を頼りに作業を進めています。



親綱を頼りに作業

現場に謎の飛行物体 =八草川=

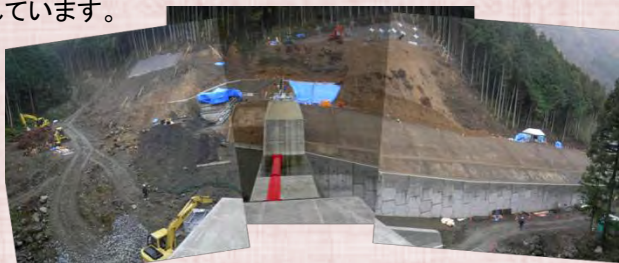
揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)地先で工事を進める八草川(はっそうがわ)山腹工事(施工:株久保田工務店)の現場は最も早く降雪が予想される場所です。今年度施工予定である崩壊斜面最上部を安定化させるためのアンカー工を今月中に完成させるため、あとひと踏ん張りです。



高所での作業のため
資材は索道で運搬

急ピッチで作業が進む =宇津志=

本巢市根尾宇津志(ねおうし)地先で工事を進める宇津志谷第1砂防堰堤工事(施工:杉山建設株)は、管理用道路の設置や補償となる水道施設関連の工事が最盛期です。狭い現場ですが、何力所も並行して工事を進めており、現場は活気に溢れています。



堰堤右岸より左岸の作業風景を望む

油圧の力で岩を割る =内谷=

揖斐川町外津汲(とつくみ)地先で工事を進める外津汲内谷(うちだに)第1砂防堰堤工事(施工:株所組)では、右岸側の掘削がほぼ目処が立ち、コンクリート打設へ移ります。

掘削中には巨大転石が現れ、大型ブレイカーでの破碎では、とても歯が立たない強度であったため、強力な油圧の力で転石を破碎しました。この工法は、従来工法の火薬等による爆破や大型ブレイカーによる破碎と比べると、無騒音・無振動で安全性・作業性に優れています。



穿孔した穴を押し広げて割る

現場に青いドームが出現 =ドン谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先で工事を進めるドン谷渓流保全工事(施工:西建産業株)は、橋台下部工や床固工などのコンクリート構造物の施工を行っています。ドン谷のある諸家(もろか)地区の最低気温は、既に氷点下を記録する日が何日もあり、コンクリートが風邪をひかないようにシートをかぶせ養生をしています。



コンクリート養生中

Webで工事現場を紹介 =敷原谷=

本巢市根尾長嶺(ねおながみね)地先で工事を進める敷原谷(しきはらだに)第1砂防堰堤工事(施工:田中建設工業株)は、砂防ソイル工法を中詰土として使用した山留工を施工中です。

現場では、独自にHP立ち上げて工事の状況等をお知らせしています。こちらも一度のぞいてみて下さい。

<http://www3.hp-ez.com/hp/tanakakk/page1>



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel:0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: bigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp